

# 第6回 Q-LEAPシンポジウム ホスターセッション 課題一覧

2024年2月8日開催

領域名	Flagship/ 基礎基盤研究等	機関名	役職	研究代表者/ 研究開発代表者	課題名	
量子情報処理	1	Flagship	理化学研究所量子コンピュータ研究センター	センター長	中村 泰信	超伝導量子コンピュータの研究開発
	2	Flagship量子AI	大阪大学量子情報・量子生命研究センター	副センター長	藤井 啓祐	知的量子設計による量子ソフトウェア研究開発と応用
	3	基礎基盤研究	自然科学研究機構分子科学研究所	教授/研究主幹	大森 賢治	アト秒ナノメートル領域の時空間光制御に基づく冷却原子量子シミュレータの開発と量子計算への応用
	4	基礎基盤研究	大阪大学量子情報・量子生命研究センター	教授	豊田 健二	冷却イオンによる多自由度複合量子シミュレータ
	5	基礎基盤研究	沖縄科学技術大学院大学/情報・システム研究機構国立情報学研究所	教授/特任教授	根本 香絵	アーキテクチャを中心とした量子ソフトウェアの理論と実践
	6	基礎基盤研究	産業技術総合研究所先端半導体研究センター	研究チーム長	森 貴洋	シリコン量子ビットによる量子計算機向け大規模集積回路の実現
	7	基礎基盤研究	慶應義塾大学理工学部	教授	山本 直樹	量子ソフトウェア
量子計測センシング	8	Flagship	東京工業大学工学院電気電子系	教授	波多野 睦子	固体量子センサの高度制御による革新的センサシステムの創出
	9	Flagship量子生命	量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門量子生命科学研究所	所長	馬場 嘉信	量子生命技術の創製と医学・生命科学の革新
	10	基礎基盤研究	東京大学大学院理学系研究科	准教授	安東 正樹	高感度重力勾配センサによる地震早期アラート手法の確立
	11	基礎基盤研究	学習院大学理学部物理学科	助教	柴田 康介	2重に量子雑音を圧搾した量子原子磁力計の開発
	12	基礎基盤研究	電気通信大学大学院情報理工学研究所	教授	清水 亮介	複雑分子系としての光合成機能の解明に向けた多次元量子もつれ分光技術の開発
	13	基礎基盤研究	京都大学大学院工学研究科	教授	竹内 繁樹	量子もつれ光子対を利用した量子計測デバイスの研究
	14	基礎基盤研究	物質・材料研究機構 電子・光機能材料研究センター 光学材料分野半導体欠陥制御グループ	グループリーダー	寺地 徳之	量子センシング高感度化への複合欠陥材料科学
15	基礎基盤研究	電気通信大学レーザー新世代研究センター	教授	中川 賢一	次世代高性能量子慣性センサーの開発	
次世代レーザー	16	Flagship(STELLA※)	東京大学光量子科学連携研究機構	教授	石川 顕一	光量子科学によるものづくりCPS 化拠点
	17	Flagship(ATTO※※)	東京大学アト秒レーザー科学研究機構	特任教授	山内 薫	次世代アト秒レーザー光源と先端計測技術の開発
	18	基礎基盤研究 (STELLA)	大阪大学大学院工学研究科	教授	佐野 智一	超短パルスレーザー加工時の原子スケール損傷機構の解明に基づく材料強靱化指導原理の構築
	19	基礎基盤研究 (STELLA)	京都大学化学研究所/東海大学	研究員/特任教授	橋田 昌樹	先端ビームによる微細構造形成過程解明のためのオペランド計測
	20	基礎基盤研究 (ATTO)	東北大学大学院理学研究科	教授	岩井 伸一郎	強相関量子物質におけるアト秒機能の開拓
	21	基礎基盤研究 (ATTO)	量子科学技術研究開発機構関西量子科学研究所光量子ビーム科学研究部	部長	羽島 良一	自由電子レーザーで駆動する高繰り返しアト秒光源のための基礎基盤技術の研究

人材育成プログラム	22	共通のコアプログラム	情報・システム研究機構国立情報学研究所	特任教授	根本 香絵	量子技術高等教育拠点標準プログラムの開発
	23	独創的サブプログラム	電気通信大学大学院情報理工学研究所	准教授	岸本 哲夫	多様な専門分野で活躍する「量子ベース思考型」人材育成のための体験型プログラムの開発
	24	量子技術リテラシー普及プログラム	Jellyware株式会社	代表取締役	崔 熙元	Quantum Transformation イノベーター人材育成の事業化の研究
	25	人材エコシステム形成プログラム	株式会社QunaSys	CEO	楊 天任	量子人材を創出するエコシステムづくり

※ STELLA : Science and Theory Enabling Intelligent Laser manufacturing

※※ ATTO : ATTOsecond lasers for next frontiers in science and technology

シンポジウムで講演（報告）を行う